昨年1年間 火災、交通事故とも増加

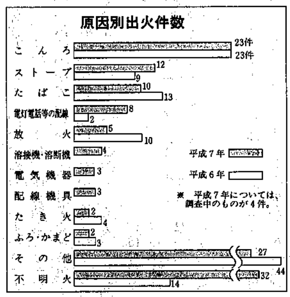
火災
原因の第1位は"こんろ"

平成七年の消防概況がこのほどまとまりました。火災の発生件数は百三十五件と前年より十三件増加。死者は二人減少し四人、火災による損害額は六億八千七百三十九万円と前年の四億七千六百五十九万円を大きく上回りました。

火災の発生原因はてんぷらなべなどの加熱によるコンロの火災が、二十三件と前年に続きトップ。以下点火中の給油などによるストーブの火災、たばこの不始末が続きます＝グラフ＝。

一方、救急車の出動は一万二百六十四件、運ばれた人は九千七百七十九人と前年より二百八十三人増加しました。

これは一日平均約二十八件（五十一分に一回）の割合で救急隊が出動し、市民約四十九人に一人が救急隊によって運ばれたことになります。



交通事故
死者の約半数が高齢者

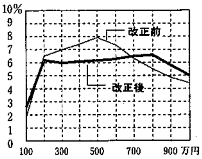
平成七年の交通事故概要がこのほどまとまりました。これによると、昨年一年間に市内で発生した交通事故は三千三百四件。おおむね市民百二十三人に一人の割合で事故に遭ったことになります。

平成六年に比べると、死者は二人減ったものの、発生件数では十件、傷者では百一人増加しています。

また、高齢者が事故に遭うケースは依然として多く、死者二十五人のうち六十五歳以上の人は十一人と半数近くにも上っています。

	平成7年	6年	増減
事故件数	3304件	3294件	＋10件
死者数	25	27	－2
傷者数	3946	3845	＋101

=グラフ= 年収に占める保険料の割合



変わる③ 国保保険料
4月から新料率で

今回は、国保料改定の具体的な中身についてお知らせします。

保険料の料率は新年度から下表のようになります。

この改定は、前回紹介したように世帯間における保険料負担の均衡を図ることが目的です。

そのため、所得割を一一・八%から七・五%に、均等割（一人当たり）を一万八百円から二万四百円に、平等割（一世帯当たり）を一万八千円から三万三千円としました。

これにより、例えば、給与収入で三百万円から六百万円の世帯では、年収に占める保険料の割合が七%から八%と他の層に比べ割高でしたが、改定後は約六%となり、全体で世帯間の格差が縮小されます。（グラフ参照）

なお、賦課限度額については、四十四万円から四十八万円（九年度からは五十二万円）になりますが、限度額に達する世帯は、年収で五百三十六万円（二人世帯）だったものが七百七十四万円（同）になり、現行より高い所得階層に引き上げられます。

見直しにより負担が増える世帯も生じますが、低所得者層については軽減制度を拡充することで国・県からの支出金の増額を図るほか、市独自の軽減を行うことで上げ幅を緩和しました。

（国民健康保険課）

＝表＝

項目	改定前		改定後
所得割	11.8%	⇨	7.5%
均等割	10,800円	⇨	20,400円
平等割	18,000円	⇨	33,000円
賦課限度額	440,000円	⇨	480,000円

＊賦課限度額＝年間保険料の上限。9年度以降は520,000円に。

年間500円で助け合い 交通災害共済に加入を

交通災害共済は一年間に五百円の加入金で、交通事故に遭ったとき最高百二十万円の見舞金を支給する相互扶助制度です。

市内に居住する人なら大人から子どもまでどなたでも加入できます。

共済期間は四月一日から来年三月三十一日までの一年間。万一の事故に備え家族そろって加入ください。

共済掛金 年間一人五百円

申し込み 三月から交通防災課（市役所本館三階）、地区事務所、連絡所、金融機関などで受け付けます。

また、二月上旬から自治・町内会を通じて加入促進の依頼を行いますので、三月下旬までに自治・町内会へ申し込みください。

問い合わせ 交通防災課（☎内線2424番）へ

母子家庭の交通災害共済 加入金を助成

母子家庭の交通災害共済加入金（一人五百円）全額の助成を行っています。

対象 平成八年一月一日現在、市内に住所のある母子家庭のうち、中学二年生までの児童と母親（両親のいない子と祖母の家庭は祖母）です。ただし、三月三十一日までに市外へ転出する家庭は対象になりません。なお、生活保護家庭と交通遺児家庭の人は手続きの必要はありません。

申請期間 三月十九日まで

申請場所 福祉総務課（市役所本館二階）、地区事務所厚生係、連絡所

持ち物 児童扶養手当証書、ひとり親家庭等医療費助成受給者証など母子家庭であることが分かるもの

問い合わせ 福祉総務課（☎内線2604番）へ

姉妹都市ガルベストン ビデオで紹介

ガスベストン市内を行く路面電車

市では、姉妹都市のアメリカ・ガルベストン市がどのような街なのかを市民の皆さんに知ってもらおうと、ビデオ「姉妹都市ガルベストンを訪ねて」（VHS、約十五分）を作成しました。

ビデオには、同市の町並み、祭り、港、病院の様子などが収められています。

ビデオでは、ガルベストン市の歴史的な建物や博物館などの観光名所を紹介。また、小学校での学習環境やセルフサービスの給食などの様子も紹介しています。

このほか、本市にあるガルベストン市ゆかりの場所なども取り上げています。

市では、これからも姉妹・友好都市のロシアのハバロフスク市、ウラジオストク市、中国のハルビン市の紹介ビデオも作成していく予定です。

ビデオは広報課（市役所本館四階）または地区事務所で貸し出していますので、この機会にぜひご利用ください。

問い合わせ 国際課（☎内線2052番）へ

曽野木地区公民館

申し込み 同館（☎280-6810）へ

◙ボランティア研修会
日時 2月17日午前9時半～午後3時
内容 高齢者向け健康料理、ボランティアの地域ネットワーク作り
対象 成人先着30人 **参加費** 500円

◙電気と暮らしのアドバイス
日時 2月21・28日午前10時～正午
内容 冷蔵庫と食器洗い乾燥機、住まいとあかり、レンジで作る押し花、ほか
定員 先着20人 **参加費** 200円

大畑少年センター

問い合わせ 同センター（☎228-4100）へ

◙妖精のへや（絵本の読み聞かせ）
日時 2月21日午後3時～3時40分
対象 幼児以上（幼児は保護者同伴）
申し込み 当日直接会場へ

◙えほんのへや
日時 2月27日午前10時半～10時40分
対象 幼児と母親
申し込み 当日直接会場へ

◙レッツGo！おやこストレッチ
日時 2月18日午後1時半～2時半
対象 幼児～小学2年生の親子先着25組
申し込み 電話で同センターへ

広報紙づくり講習会

日時 2月13・20・27日午後7時～9時
会場 北地区公民館
申し込み 会場（☎259-7330）へ

自然科学館

問い合わせ 同館（☎283-3331）へ

◙青少年のための科学の祭典
期間 2月10・11日
内容 科学で遊ぼう、光と音の世界、電気と磁気の不思議、などの作品展示

◙飛行機の操縦体験装置
期間 2月25日から
内容 飛行機の飛ぶ仕組みを学びながら、擬似体験で大型ジェット機の操縦を体験

厚生年金スポーツセンター 水泳教室

期日 2月15日～3月18日毎週月・木曜日 **対象** 18歳以上の人
参加費 7,000円
申し込み 同センター（☎239-3232）へ

コース	定員	時間
初級（昼）2コース	先着各15人	13：00～14：00
初級（夜）2コース	先着各20人	18：45～19：45
中級（夜）		

東地区公民館

申し込み 同公民館（☎241-4119）へ

◙シャンソンとタンゴのひととき
日時 2月25日午後1時半～3時
内容 ピアノとエレクトーンによる演奏とお話
定員 先着50人 **参加費** 300円

◙文学セミナー・啄木における「妻」
日時 2月29日、3月7日午前10時～正午
定員 先着30人 **参加費** 300円

水彩画初心者教室

日時 2月20日～3月19日毎週火曜日午前10時～正午
会場 濁川公民館 **定員** 先着20人
申し込み 北地区公民館（☎259-7330）へ

新潟歩く会 説明会

日時 2月11日午前10時～正午
会場 中央公民館
問い合わせ 林（☎286-7703）へ

西地区親善ソフトバレーボール大会

日時 3月3日午前9時受け付け
会場 内野小学校体育館 **種別** 男女別
対象 西地区在住の社会人、西地区のサークル所属者
参加費 1チーム1,000円
申し込み 2月16日までに真嶋（☎261-1594）へ

くらしの1日教室 借家等の契約・更新・明け渡しについて

日時 2月20日午前10時～正午
会場 市役所本館6階講堂
内容 知っておきたい部屋探しの心構え
定員 先着40人
申し込み あす5日から電話で市消費生活センター（☎内線2412番）へ

自然セミナー 新潟の花ごよみ

日時 3月7日～4月13日午後6時半～8時半（全6回）
会場 鳥屋野地区公民館
内容 角田・弥彦の早春の花々を訪ねて、新潟の砂丘を彩る花、ほか
定員 先着60人
参加費 1,000円（現地研修は実費負担）
申し込み 会場（☎285-2371）へ

シャルル・デュトワ指揮 フランス国立管弦楽団演奏会

日時 4月28日午後3時開演
会場 県民会館大ホール
曲目 マーラーの交響曲第1番二長調「巨人」、ほか
前売入場料 3,000円～13,000円
問い合わせ 会場（☎228-4481）へ